

よりそう

Side by Side

2012.1.11(水)

第 139 号

編集責任：カムラ

事故多発中 車の運転には くれぐれもご注意を！



昨年末から現在にかけて、まごころネットのボランティア活動で使っている車両での事故が多発しています。事務局の車両担当をしてくださっている本間さんによると、本日1月11日現在、計9件の事故が報告されているそうです。

9件は全て物損あるいは自損で幸いにも人への被害はありませんでしたが、このペースだといつ大きな事故があってもおかしくない状況といえます。

事故の原因は主に前方不注意、後方不注意などの不注意とのことで、発生場所も雪道に限らず、駐車スペースなどでの事故も起こっているとのこと。また修理に出している間は、その車両が使えないため活動への影響もでてきています。(本日付で3台が修理中)

「“不注意”という原因の裏には疲れだとか、活動で無理をしていないかといった違う原因が隠れているかもしれません。疲れているとき、体調が思わしくないときはきちんと休み、無理をしないようにするのも大事な対策です。」と本間さん。運転してくださっている人たちにかかっている負担を心配しておられました。

日々氷点下10度以下になる日も珍しくない最近の遠野、浄化センターから大きな通りへ出る道は年末からずっと凍ったままです。(初代編集長三好さん曰く「その道と浄化センターの敷地の中が実は一番危

険！」だそうです!)そのような厳しい環境で日々運転してくださっている方にかかる負担は並大抵ではないとおもいます。私たちが活動を続けられるのもこのような中毎日運転してくださる方々のおかげでもあります。寒くて頭もカラダも凍りがちな今日この頃ですが、参加する一人一人の健康、安全があつてこそそのボランティアです。運転にはくれぐれも気を付けて、そして決して無理をせずに活動しましょう!!

◇参考資料◇

事故発生時の対応マニュアル

- 手順1 車を安全な場所に寄せる(現状の維持は間違っ理解)
- 手順2 負傷者の確認(こちら側、相手方)と救急処置
- 手順3 目撃者の確認、確保(いない時は不要)
- 手順4 警察への通報(届出)
- 手順5 相手方への確認(住所・氏名・連絡先・勤務先・車種・登録番号・色)
- 手順6 まごころネットへの連絡
- 手順7 現場検証立会い
- 手順8 レッカー、修理工場手配(指示による)

(冬道の運転についての注意事項、事故対応マニュアルについて詳しく書いたものが事務局のドアを入ってすぐ右にあります。運転される方は必ずお持ちください。)

陸前高田、始動！

1月11日、陸前高田班の現場の活動は黙祷から始まりました。この日、震災から10ヶ月目を迎えました。今年も引き続き活動の様子をお伝えしていきます。(写真提供：宮本さん)



今日の活動では上長部の住民の方たちから、津波をかぶり立ち枯れた杉の木の一部をいただきました。まごころネットの看板にと丸太の表皮を削った大きな一枚板(長さ約2.5m!)と薪用にたくさんの丸太を持ち帰りました。腕に覚えのある方、是非まごころの看板を書いてみませんか!そして薪の必要な部隊は陸前高田隊に申し出て下さい。薪を差し上げます(とのことです)。

1/11(水) 宮本 4人 沼田 60人

編集長三好さん

1/12(木)の天気は：くもり
気温：-4℃
降水確率：70%